

令和6年度 図画工作科 評価規準

月	題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準
4	季節を感じて	絵	4	季節から感じたことを絵に表す。	知 表したいことが伝わるように、色使いや筆使いを工夫する。	知 自分もった季節のイメージを絵に表すことを通して、形や色、奥行き、色の鮮やかさなどを理解している。
					技 描画材料を適切に活用し、これまでの描画材料についての経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせて、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	技 描画材料を適切に活用し、これまでの描画材料についての経験や技能を総合的に生かし、表現に適した方法などを組み合わせて、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。
					☆ 思 季節を感じて、表したいことや表し方を考える。	発 季節を感じて表したいことを見つけ、形や色、描画材料の特徴、構成の美しさなどの感じを考え、どのように表すか考えている。
					学 季節を味わい、描くことをたのしむ。	鑑 自分や友達の作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。
5	ビー玉大ぼうけん	工	4	ビー玉が転がる面白いコースを考えてコースターをつくり、みんなで遊ぶ。	知 ビー玉の転がり方を試しながら、コースのつくり方を工夫する。	知 コースのしかけによる玉の転がり方から、ものの動きやバランスを理解している。
					技 玉の転がり方を試しながら、紙を折ったりつないだりしてコースのしかけのつくり方を工夫して表している。	技 玉の転がり方を試しながら、紙を折ったりつないだりしてコースのしかけのつくり方を工夫して表している。
					☆ 思 転がると面白いコースやしかけを考える。	発 玉の転がり方をもとにしかけを思いつき、つくりたいコースのイメージをもちながらどのように表すか考えている。
					☆ 学 友達と協力してつくることをたのしむ。	鑑 作品で遊び、友達のコースの面白さやしかけの工夫を感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。
5	線から生まれた わたしの世界	絵	2	いろいろな線の描き方や重ね方を試し、表したいことを絵に表す。	☆ 知 線の描き方や組み合わせ方を工夫する。	知 いろいろな線を描くことを通して、線で表す形や色を理解している。
					技 表したいことに合わせて線の描き方や組み合わせ方などの表し方を工夫して表している。	技 表したいことに合わせて線の描き方や組み合わせ方などの表し方を工夫して表している。
					☆ 思 線を描きながら表したいことを考える。	発 線を描きながら表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
					学 いろいろな線を描くことをたのしむ。	鑑 線による表現のよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。
6	ねん土で動きをハイ、ポーズ！	立	2	粘土で動き出しそうな人物を立体に表す。	☆ 知 ねじったりひねったりして、動きの出る表し方を工夫する。	知 粘土をひねりだしたり、形を組み合わせたりすることから、立体で表す動きやバランスを理解している。
					技 粘土をひねりだしたり、形を組み合わせたりするなどして、動きを表すために表し方を工夫して表している。	技 粘土をひねりだしたり、形を組み合わせたりするなどして、動きを表すために表し方を工夫して表している。
					☆ 思 動きの感じをとらえ、表したいポーズを考える。	発 人の動きやバランスなどから、自分のイメージをもって表したい動きを思いつき、どのように表すか考えている。
					学 粘土の触り心地を味わい、動きをたのしく表す。	鑑 自分や友達の作品から動きを表す造形的な美しさや表し方を感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。
6~7	だんボールでためしてつくって	立	4	段ボールの特徴を生かして、切ったりはがしたり折り曲げたりして、立体に表す。	知 段ボールの折り曲げ方や切り方、組み合わせ方を工夫する。	知 段ボールを材料とした表現を通して、動きやバランスを理解している。
					技 段ボールの特徴を生かし、カッターナイフなどの用具を活用しながら折り方や曲げ方、組み合わせ方などを工夫して表している。	技 段ボールの特徴を生かし、カッターナイフなどの用具を活用しながら折り方や曲げ方、組み合わせ方などを工夫して表している。
					☆ 思 段ボールの特徴から表したいものを考える。	発 段ボールの加工のしかたを試したり見つけたりして思いついたことをもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
					学 段ボールをいろいろな形に変えて、つくることをたのしむ。	鑑 段ボールの加工の工夫や作品のよさを互いに感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。
9	見つけてワイヤーワールド	工	6	針金の特徴を生かして、立体的に表す。	☆ 知 針金を曲げたり組み合わせたりして、つくり方を工夫する。	知 針金を曲げたりつないだりすることから、動きやバランスを理解している。
					☆ 思 針金でできる形から、表したいことを考える。	技 針金の特性を生かし、ペンチや金づちなどの用具を活用しながら表し方を工夫して表している。
						発 針金を曲げたりつないだりすることからイメージを広げ、つくりたい形を考えている。

■第5学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性があります。予めご了承ください。

月	題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準
						鑑 作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴について感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。
					学 針金でできる形を見つけたりつくったりすることをたのしむ。	主 針金に手を加えながらつくる学習活動に主体的に取り組もうとしている。
9	コロコロ ローラーダンス	絵	2	ローラーの特徴を生かして、表し方を工夫しながら絵に表す。	知 ローラーを使った表し方を工夫する。	知 ローラーを使って表すことを通して、形や色、それらの組み合わせやバランス、色の鮮やかさなどを理解している。
					技 ローラーによる表現の特徴を生かして、他の材料や方法を組み合わせた表し方を工夫して表している。	
					☆ 思 ローラーを使ってできた形や色から表したいことを考える。	発 ローラーを使ってできた形や色から想像し、表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。
					学 ローラーを使ったのしく活動する。	鑑 自分や友達の作品の造形的なよさや美しさについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。
						主 つくりだす喜びを味わい、ローラーで表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。
10	重ねて広がる形と色	絵・版	6	彫りと刷りを繰り返してできる彫り進み版画の技法で木版画に表す。	☆ 知 彫刻刀の使い方や刷る色などを工夫する。	知 版による表現を通して、色の重なりや組み合わせ、形のバランスなどを理解している。
					思 彫りと刷りの繰り返しから表したいことを考える。	技 彫り進み版画の特徴を生かして、彫る形や重ねて刷る色など表し方を工夫して表している。
					学 彫りと刷りを繰り返して表すことをたのしむ。	発 彫りと刷りの繰り返しから想像を広げて表したいことを見つけ、どのように表現するか考えている。
						鑑 自分や友達の作品のよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。
						主 彫り進み版画の活動に関心を持ち、彫りと刷りを繰り返して表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。
11	進め！糸のこたん検隊	工	6	電動糸のこぎりで板を自由に切り、切った形を組み合わせる。	☆ 知 電動糸のこぎりの使い方や板の組み合わせ方を工夫する。	知 板を自由に切ることを通して生まれた形やその組み合わせの動きや奥行き、バランスを理解している。
					思 切った板を組み合わせながら、表したいことを考える。	技 電動糸のこぎりの特性を生かし、板の切り方や組み合わせ方を工夫して表している。
					学 電動糸のこぎりで板を切ることをたのしむ。	発 形や色、バランスなどをもとに、自分のイメージをもちながら表したいことを見つけ、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じを考え、どのように表すか考えている。
						鑑 自分や友達の作品の造形的なよさや美しさについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を深めている。
						主 つくりだす喜びを味わい、板材を電動糸のこぎり、板材を組み合わせる学習活動に主体的に取り組もうとしている。
12	地球まるごと たからばこ	遊	3	身近にある自然の材料や場所の特徴を生かして活動する。	知 自然の材料と場所の組み合わせ方を工夫する。	知 自然の材料と場所との組み合わせから、自然や材料の形や色、空間などを理解している。
					思 材料や場所の特徴を生かして何が出来るか考える。	技 これまでの経験を生かして、自然の材料や場所の特徴を活用したり、技能を総合的に生かしたりして工夫してつくっている。
					☆ 学 自然の材料に親しみ、友達と協力してたのしく活動する。	発 材料を集めたり、場所を探したりすることから発想を広げ、その特徴や周囲の様子を考えあわせながら活動することを考えている。
						鑑 身近な場所と自然の材料の組み合わせから、変えていった場所のよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。
						主 友達と協力して、自然のある場所や材料に働きかける学習活動に主体的に取り組もうとしている。
1	あったらいい町 どんないな	絵	4	あったらいいな、行ってみたいと思う町を想像して絵に表す。	知 思いついた形や色の組み合わせを工夫する。	知 絵の具やクレヨンを使って想像した町を描くことによって、バランスや色の鮮やかさを理解している。
					☆ 思 想像を膨らませて、表したい空想の町を考える。	技 想像した表したいことに合わせて、これまでの描画材料の経験を生かし、形や色の表し方を工夫して表している。
					学 あったらいいなと思う町を描くことをたのしむ。	発 あったらいいなという町を具体的に想像し、表したいことを思いつき、どのように表すか考えている。
						鑑 自分や友達の作品のよさについて感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。
						主 想像を広げる喜びを味わい、想像の町を絵に表す学習活動に主体的に取り組もうとしている。
					知 作品に描かれている町の様子を見て、形や色の特徴	知 作品に描かれている町の様子を見て、形や色など理解している。

■第5学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性があります。予めご了承ください。

月	題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準
2	わたしの町のひみつ教えます	鑑	2	町の絵を見て、作品から想像したことや考えたり感じたりしたことを伝え合う。	〜 微に気づく。	技
					☆ 思 町の作品からいろいろなことを想像して見方や感じ方を深める。	発 鑑
					学 互いの感じ方のよさや違いをたのしんだり味わったりする。	主
2～3	動いてクレイアニメーション	工	8	紙粘土でオリジナルキャラクターをつくり、友達と協力してクレイアニメーションをつくってたのしむ。	知 キャラクターの動かし方やコマのつながりを工夫する。	知 技
					思 キャラクターに合わせた動きとお話を考える。	発 鑑
					☆ 学 友達と協力してクレイアニメーションをつくることをたのしむ。	主